

報道機関 各位

平成 27 年度の内部被ばく検査等の実施状況について

市では、平成 23 年 3 月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受けて、独自に購入したホールボディカウンターやゲルマニウム半導体検出器を用いて、内部被ばく検査や食品等の放射性物質の検査を実施しています。

このたび、平成 27 年度の検査結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 平成 27 年度の実施状況

(1) 固定式ホールボディカウンターによる内部被ばく検査の結果

市民の皆様健康管理に役立てていただくよう、検査を実施しています。

平成27年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者2,538人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている1 mSv 未満であり、検出限界値を下回った方は2,520人で、全体の99.3%となっています。なお、検出された方については、近隣で採取した山菜等を食しているケースが多くみられました。

受検者数	預託実効線量			
	1mSv 未満	1mSv	2mSv	3mSv
2,538	2,538	0	0	0

※ 預託実効線量は、体内から受ける内部被ばく線量の累積線量(成人は50年、子どもは70歳まで)

※ 検出限界値は、放射性セシウム 134=200ベクレル、放射性セシウム 137=220ベクレル(検出限界値を預託実効線量に換算した場合、「3～7歳」の例で示すと、0.058mSv となります。)

年齢別受検状況

年齢区分	～9歳		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受検者数	319		197		195		312		292		1,223	
	157	162	80	117	65	130	104	208	93	199	544	679

※ 年齢は、H23.3.12時点で区分しています。なお、4歳未満の子どもの対象とした検査を開始したため、「～9歳」の区分にはH23.3.12時点での未出生児も含まれています。

(2) 巡回方式による内部被ばく検査の結果

県が所有する車載式ホールボディカウンターにより、山間部や南部地区(勿来・田人)等、地理的な関係から固定式での受検が困難である地域を巡回しながらの検査を実施しています。

また、県外に避難された方についても、県において各都道府県を巡回しながら検査を実施しています。

平成27年度の検査結果は次のとおりです。

なお、受検者812人の預託実効線量は、全員が、健康に影響がないとされている1 mSv 未満であり、検出限界値を下回った方は802人で、全体の98.8%となっています。

受検者数	預託実効線量			
	1mSv 未満	1mSv	2mSv	3mSv
812	812	0	0	0

年齢別受検状況

年齢区分	～9歳		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳～	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
受検者数	64		30		37		68		84		529	
	28	36	12	18	15	22	31	37	33	51	221	308

(参考 これまでの検査結果)

年度別受検者数の推移

年度	受検者数	預託実効線量	
		1mSv 未満	うち不検出
H23	3,100	3,100 (100%)	2,754 (88.8%)
H24	43,457	43,457 (100%)	42,870 (98.6%)
H25	18,678	18,678 (100%)	18,546 (99.3%)
H26	31,904	31,904 (100%)	31,868 (99.9%)
H27	3,350	3,350 (100%)	3,322 (99.2%)
計	100,489	100,489 (100%)	99,360 (98.9%)

月別受検者及び検出者の推移

